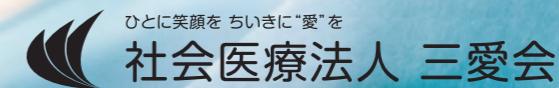


# SAN-Ai

社会医療法人 三愛会 広報誌「さんあい」

Vol.23



社会医療法人 三愛会 広報誌「SAN-Ai」Vol.23(2022年4月1日発行)

発行元/〒870-1151 大分市大字市1213番地 TEL.097-541-1311 社会医療法人 三愛会 大分三愛メディカルセンター 広報委員会  
社会医療法人 三愛会/www.san-ai-group.org/ 三愛総合健診センター/www.kenkou-oita.com



続くコロナ禍の中でも、一般医療は日々の疾患から人々の健康を守っている。大分三愛メディカルセンターでは、コロナ流行初期から陽性者の受け入れなどの対応を行ってきたが、その本懐は「地域の健康を守る、地域の病院」ということ。診療科は21を数えるが、その中でいま、大きく変化しているのが「循環器内科」だ。

2021年6月、同科の統括部長として宮本宣秀が着任すると、この半年で診療体制は大きく動き始めた。宮本と犀川哲典、金子匡行、浦壁洋太、「心臓」のスペシャリスト4名をはじめとして、看護師、臨床工学技士、臨床検査技師、放射線技師ほか、多くの職種で「循環器疾患」に立ち向かう準備を整えてきた。

2021年12月7日、大分三愛メディカルセンターで初めてとなる「心臓カテーテル検査（CAG）」が始まると、現場の血管造影室前には多くのギャラリーが集まり、その記念すべき検査風景を見守った。翌週14日には、早速「心臓カテーテル手術（PCI）」の1例目を迎えた。近隣の連携医療機関からの相談も多くなり、緊急検査・手術も受け始める。開始から4ヵ月が経とうとしているが、カテーテル実施日に設定され

た毎週火曜日には、血管造影室では多くの「心カテスタッフ」たちが集まることがすでに日常となっている。大分三愛メディカルセンターとしては初めてであった「心カテ」、当時は不安も覗かせたスタッフたちの表情にも、勉強会や実践を重ね、今では自身が満ち溢れている。

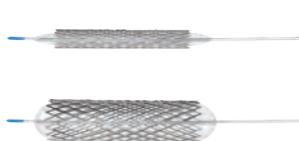
「とにかくこのあたりは、心不全や狭窄症の方が多いんですよ」という、近隣医療機関の医師たちからの声は、実は多い。地域の循環器疾患に真っ向から目を向け、「三愛循環器チーム」はその経験値を高め続けている。

写真/2021年12月7日、大分三愛メディカルセンターでは初となる、心臓カテーテル検査の様子。



## 心臓カテーテル手術 (経皮的冠動脈形成術)

Percutaneous Coronary Intervention



PCI 14 件

うち緊急手術 3 件

2021年12月7日～2022年3月18日現在



## 心臓カテーテル検査

Coronary Angio Graphy



CAG 50 件

実績

2021年12月7日～2022年3月18日現在



# 大分三愛メデイカルセンター 循環器内科医師



当院では、2021年12月より心臓カテーテル検査・手術を始めました。また病院の実績として日々浅いものの、看護師や臨床工学技士、臨床検査技師等のスタッフは勉強会やトレーニング、検査後の振り返りを続けながら腕を磨いております。

主に狭心症や心筋梗塞など、虚血性心疾患とよばれるものを調べる検査で、冠動脈のどの血管がどのくらい狭くなっているか、どの血管が詰まっているかを詳細に調べます。手術については、「経皮的冠動脈形成術」といって、狭くなったり閉塞した血管を治療するものです。狭くなった箇所に風船を入れ膨らませるバルーン治療、ステント(金属のチューブ)を入れて血管を拡げる方法などがあります。いずれも、2泊3日程度の入院で済み、身体的な負担も軽いため、すぐに日常生活へ戻ることも期待できます。検査や治療は、受けること自体が不安の多いものですが、当院では少しでも安心して治療いただけるよう心がけています。

循環器内科 医長 浦壁 洋太

[認定資格]  
日本循環器学会専門医  
日本心血管インターベンション治療学会認定医  
日本内科学会総合内科専門医

循環器内科 部長 金子 匠行

[認定資格]  
日本循環器学会専門医/心臓リハビリテーション指導士  
日本心血管インターベンション治療学会専門医  
日本内科学会総合内科専門医

2021年6月より当院循環器内科は専門医4名の新体制となり、地域の皆さまのご理解・ご協力を賜りながら日々の診療に尽力しております。続くコロナ禍ではありますが、多くの近隣医療機関の先生方との連携は強固なものとなっている実感もあり、地域全体での患者さまの包括ケアに向け、期待に胸を膨らませております。

医療機関や施設、訪問看護・介護の皆さまからのニーズに応え続けるべく、日々患者さまを一人ひとり丁寧に診ていくほか、緊急的心臓カテーテル検査・手術の対応をはじめ、心臓リハビリテーションや経食道エコー検査等、体制のさらなる充実を図っております。超高齢化社会を迎える地域で完結する医療・健康保持支援を目指して、患者さま含め関係する多くの皆さまと手を携え、当院が貢献できることを考え実行して参ります。

循環器内科 統括部長 宮本 宣秀

[認定資格]  
日本循環器学会専門医/日本内科学会総合内科専門医  
日本心血管インターベンション治療学会指導医  
心臓リハビリテーション指導士

循環器というイメージがつきにくいかもしれないですが、簡単に言うと「心臓」と「血管」のことです。超高齢化が進み、心臓の病気を患有の方も圧倒的に増えています。大分県も高齢化率の高い県ですので、どの地域でも心臓病の数は年々増えてしまっています。であれば、その疾患に対してはしっかりとサポートしていかなければなりません。

心臓に関しては、血管の病気が前提にあります。ときに、命に関わる程の病気が発見されます。高齢の方はもちろん、最近は若い方にも無関係ではありません。40代前後から、「狭心症」「心筋梗塞」などで運ばれたり、外来受診の際に見つかったり、ということが増えているのです。症状としては、息切れや動悸、胸痛などが典型的です。そういうサインが起こり始めたら、まずはお近くのクリニックへ受診するなど具体的な行動を起こし、健康・長生きのためにご自身のお体を労わってはいかがでしょうか。

循環器内科 医長 犀川 哲典

[認定資格]  
日本臨床検査医学会専門医/日本循環器学会専門医  
日本不整脈・心電学会専門医/日本高血圧学会専門医  
日本老年病学会指導医/日本内科学会認定医

# 心臓ドック、はじめます。

三愛総合健診センターにて、4月より受付開始。

各種健診・検診ほか、人間ドック各コース、脳ドック、肺がんドックも受付中。

循環器内科診療体制の確立に伴い、併設する三愛総合健診センターでも、  
心臓に特化したドックを新設します。冠動脈CT検査をメインに、  
心臓に関するご心配事を、ご一緒に考えていきます。



人間ドック・脳ドック受付

## 検査項目

- ・問診
- ・身体測定  
(身長・体重・BMI・腹囲・体脂肪率・肥満度)
- ・血圧/心拍数測定
- ・心臓CT検査(冠動脈CT)
- ・心臓超音波検査
- ・頸動脈エコー検査
- ・安静時心電図検査
- ・動脈硬化検査(CAVI/ABI)
- ・採血検査
- ・循環器内科専門医による説明



検査画像



大分三愛メディカルセンター内

## 三愛総合健診センター

各種健診・検診・ドックのご予約

TEL.097-542-6733

受付時間 平日/10:00~17:00 土曜日/8:30~12:00

## 循環器・検査診療体制の充実

大分三愛メディカルセンターでは、2021年9月より心臓リハビリテーションを開始し、  
10月には経食道エコー検査をはじめました。

また、9月よりCT装置を最先端の全身用X線CT診断装置に更新しています。



### 心臓リハビリテーション

心血管疾患(慢性心不全、狭心症、閉塞性動脈硬化症、大血管疾患、心臓血管術後)に対して、専門的なリハビリを行います(循環器専門医4名・心臓血管外科医1名が常勤し、施設基準1を取得)。心肺運動負荷試験(CPX)などをもとに、安全・適切・効果的なリハビリテーションを行い、さらに看護師・薬剤師・管理栄養士・医療ソーシャルワーカーなど、多職種でのカンファレンスを通して、患者さまの良好なADL・QOL獲得・維持をめざします。



### 経食道心臓エコー

消化管内視鏡の要領で、食道に挿入したプローブで心臓を裏から観察できます。これにより、脳梗塞のもとになる左心房・左心耳の血栓や、卵円孔開存(心臓の壁に小さな穴があいていること)の有無を詳細に観察します。また、弁膜症の詳細な形態や状態を把握でき、疣贅(ゆうぜい・イボのこと)・菌塊の存在なども、経胸壁エコーに比べてはるかに高率で発見できます。検査は概ね15分程度。麻酔をかけて実施しますので、身体的負担をほとんど感じません。



### 全身用X線CT診断装置

最先端の全身用X線CT診断装置(Aquilion ONE PRISM Edition)を導入。従来の80列CTから4倍の320列CTとなり、1回転で160mmの幅の撮影が可能に。特に心臓や冠動脈の検査においても上質な画像が得られ、正確な画像診断が可能になりました。これまでよりも少ないX線被ばく量・少ない造影剤で検査が可能なので、身体的負担軽減にもつながります。

## [社会医療法人 三愛会]

### 大分三愛メディカルセンター

#### 三愛総合健診センター

所在地 〒870-1151 大分県大分市大字市1213番地

T E L 097-541-1311

F A X 097-541-5218

病床数 190床

診療科 脳卒中センター、消化器病・内視鏡センター、運動器センター、救急外傷センター(ER)、人工透析センター、画像診断センター、リハビリテーションセンター、救急科・外科・消化器外科・心臓血管外科・呼吸器外科・乳腺外科・大腸肛門外科・脳神経外科・整形外科・泌尿器科(人工透析)・形成外科・内科・総合診療科・消化器内科・呼吸器内科・循環器内科・糖尿病内分泌内科・リウマチ科・神経内科・放射線科・リハビリテーション科・麻酔科

専門外来受付 8:15~12:00/13:30~17:00

※診療開始時間は診療科によって異なります。

休診日 日曜日・祝日・土曜日午後

※但し、救急・時間外診療は24時間体制です。

認定施設 二次救急指定病院、大分DMAT指定病院、DPC対象病院、日本医療機能評価機構認定病院

### 介護保険相談センター さんあい

(大分三愛メディカルセンター内)

T E L 097-542-7409

サービス 居宅介護支援、介護予防居宅介護支援

### 三愛訪問看護ステーション

(大分三愛メディカルセンター内)

T E L 097-541-7007

サービス 訪問看護、介護予防訪問看護

### のつはる診療所

所在地 〒870-1203 大分市大字野津原906番地の1

T E L 097-588-1311

診療科目 外科・心臓血管外科・呼吸器外科・内科・整形外科・循環器内科・リハビリテーション科

病床数 19床

サービス 通所リハビリテーション(デイケア)、介護保険相談センター

HPアドレス notsuharu-san-ai.com/

### 三愛呼吸器クリニック

所在地 〒870-1143 大分市田尻419-1

T E L 097-541-2588

診療科目 呼吸器内科・内科

サービス 呼吸リハビリテーション

HPアドレス kokyu-oita.com

## たばるクリニック

所在地 〒870-1154 大分市大字田原字深田936番地1の1

T E L 097-541-2345

診療科目 外科・内科・消化器外科・リハビリテーション科

サービス 訪問看護ステーション

### 介護老人保健施設 たばる

(たばるクリニック併設)

T E L 097-542-4139

サービス 入所サービス、短期入所療養介護(ショートステイ)、通所リハビリテーション(デイケア)

### グループホームたばる

(たばるクリニック併設)

T E L 097-541-5298

サービス 入所サービス

### 庄内診療所

所在地 〒879-5421 由布市庄内町柿原280番地1

T E L 097-582-3600

F A X 097-582-3619

病床数 19床

診療科 内科・消化器内科・外科・消化器外科・整形外科・リハビリテーション科

### 介護老人保健施設 わさだケアセンター

所在地 〒870-1151 大分市大字市大坪11番地の2

T E L 097-541-6655

サービス 入所サービス、短期入所療養介護(ショートステイ)、通所リハビリテーション(デイケア)

HPアドレス wasada-care-center.com ※アドレスを変更しています

### 有料老人ホーム さんさん

所在地 〒870-1151 大分市大字市566番地の3

T E L 097-529-5580

サービス 住宅型有料老人ホーム

### さんあいヘルパーステーション

(有料老人ホームさんさん内)

T E L 097-529-5582

サービス 訪問介護、介護予防訪問介護

## [社会福祉法人 三愛会]

### 特別養護老人ホーム そうだ藤の森

所在地 〒870-1123 大分市大字寒田202番地

T E L 097-567-8822

### 天領ガーデン・ふれあい館

所在地 〒870-1143 大分市大字田尻高尾783-1

T E L 097-578-7122

### 特別養護老人ホーム 天領ガーデン

(天領ガーデン・ふれあい館内)

T E L 097-574-7500



今回の広報誌「SAN-Ai」では、大分三愛メディカルセンター循環器内科をご紹介しました。これまで当院では、人員不足のために循環器疾患の急患には対応できず、他の医療機関に頼らざるを得ない状況にありました。この2年間で4名の専門医を迎え、昨年末から心臓カテーテル検査・手術を開始いたしました。すでに当院の診療の柱の一つともいえる診療科となりました。

4月から血管造影室の改装・血管造影装置の更新に取りかかり、6月下旬には最新鋭の血管造影室(カテーテル室)に生まれ変わります。循環器内科の心臓カテーテル検査、冠動脈および末梢血管のカテーテル治療、脳神経外科領域の脳血管内治療、放射線科の各種インターベンションがより的確に、より安全に行うことが可能になります。患者さまやご紹介いただく先生方には3ヶ月近くご不便をおかけいたしますが、ご容赦いただきますようお願いいたします。

2022年、年明け早々からオミクロン株による新型コロナ第6波が到来し、当院はコロナ患者受け入れ病院としての対応を迫られ、第5波を乗り越えて通常の病棟体制に戻していった個病棟を、1月上旬から再びコロナ専用病床に変換したために、一般病床は平時の4分の3しか使えない状況が続いています。このため、コロナ患者さま以外の入院受け入れに余裕がなくなり、ご紹介いただいた患者さま、救急患者さまをも断らざるを得ない事態が続き、二次救急病院として忸怩たるものでした。この状況下で可能な限りの対応をして行く所存です。引き続き入院受け入れに務めた結果、入院期間の短縮が至上命題となり、患者さまやご家族、

地域の医療機関、介護施設には迷惑、ご負担をおかけしているものと思います。

3月中旬現在、県内の新規患者数は減少傾向ですが、いまだに1日200人前後の新規発生が続いています。ヨーロッパの状況を見ますと、患者数が減り切らないまま次の波が来ることも十分に予想されます。私は2020年初頭からすでに2年以上、発熱外来運営、新型コロナ患者入院受け入れ一般市民や施設入所者へのワクチン接種、集団接種会場や宿泊療養施設への医師・看護師の派遣、さらにはクラスターが発生した向かって医療・介護機関の皆さま、お取引業者はすべて行って参りました。終わりの見えない闘いの中、日々見えないウイルスに立ち向かっているスタッフを誇りに思います。また、高齢者施設への直接的サポートなど、できることはすべて行って参りました。終わりの見理解・ご協力くださっている患者さま、連携する医療・介護機関の皆さま、お取引業者はすべて行つて参りました。終わりの見

今後また新たな“波”が到来した際には、地域の病院として普段どおりの十分な医療を提供し続けるとともに、対コロナでも可能な限りの対応をして行く所存です。引き続き、社会医療法人三愛会および当院をよろしくお願いいたします。

大分三愛メディカルセンター 病院長 森義顕

